

WAKA-P

和歌山県文化情報誌 ワカピー

関西から

文化力
POWER OF CULTURE

2008年
9・10月号 Vol.21

Wakayama Culture and Arts **POWER**

紀の国遺産探訪

KINOKUNI HERITAGE

長沢芦雪の虎図 (無量寺・串本応挙芦雪館)

大胆な構図で今にも飛び出してきそうな豪快さと見るものを威嚇するような迫力。大きな墨絵をためらいもなく襖6面に一挙に描き上げている画力に圧倒されます。

詳細はP6参照

CONTENTS

アーティストメッセージ…2 和歌山県文化表彰受賞者…3

イベントガイド…4・5 紀の国遺産探訪 …6 大好き和歌山／けんぶん舞台裏へのご招待 …7

カルチャーインフォメーション…8

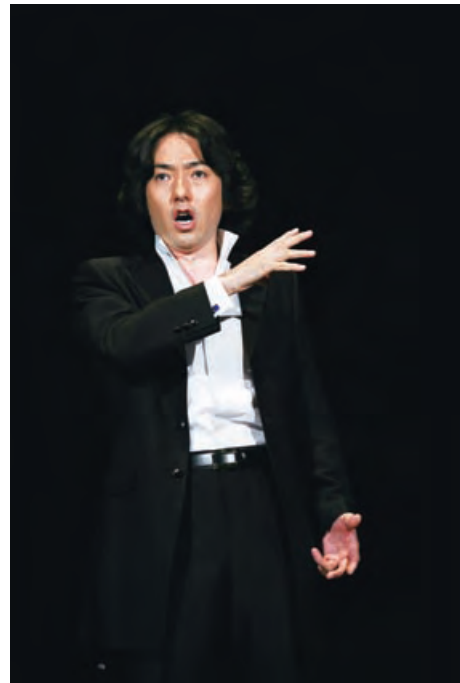


artist message

アーティスト メッセージ

元氣や勇気を与えるクラシックの音楽を身近に感じてほしい

10月8日(水)に和歌山県民文化会館で開催される「秋川雅史コンサート08」。テノール歌手として不動の地位を築いた秋川さん。あの「千の風になって」が聞ける絶好の機会です。秋川さんにコンサートの抱負をお伺いしました。



テノール歌手 秋川 雅史さん

あきかわ・まさふみ

昭和42年10月11日生まれ。愛媛県出身。4歳よりバイオリンとピアノをはじめ。後に父の指導のもとに声楽へと転向する。国立音楽大学・国立音楽大学院にて中村健氏の指導を受けた後、4年間イタリアのバルマで、デリオ・ボレンギ氏に師事。帰国後、第9のソロや数々のコンサートに出演。1998年カンツォーネコンクール第1位、日本クラシック音楽コンクール声楽部門最高位をそれぞれ受賞。2001年日本コロムビアより日本人テノールとして、最年少CDデビュー。2006年「千の風になって」がアルバム「威風堂々」よりシングルカット。

Q テノール歌手として普段心がけていることはどんなことでしょうか？

A 自分の声の響きをキープし、また上達させていくため、摂生とトレーニングを行っています。またお酒や夜更かしなどは翌日疲れが残りに声に影響がでますので全くしなくなりました。

Q 秋川さんのコンサートの特徴を教えてください。

A 常に120%で全力でコンサートを歌いきる。人間の体力や集中力の限界にいつも挑戦しています。またトークなどでお客様が退屈にならないコンサートを目指しています。

Q 大ヒットとなった「千の風になって」は秋川さんにとってどのような意味をもつ歌なのでしょう？

A 生涯をかけてともに寄り添ってお互いが成長させていける関係でありたいと思っています。

Q 今回のコンサートの見どころはどのようなところでしょうか？

A 高尚なクラシックだと思わず、娯楽として楽しんでもらいたいと思っています。

Q これからの活動の抱負をお願いします。

A たくさんの人に歌で元氣や勇気を与えるとともにクラシックの音楽を少しでも身近に感じていただければと思っています。将来はいつかオペラの舞台にも立つてみたいと思います。

Q 最後にワカピーの読者へのメッセージをお願いします。

A 私のふるさと愛媛と同じみかんの産地、和歌山にすごく親近感を感じています。10月8日に和歌山県民文化会館で皆さまとお会いできる事を楽しみにしています。

秋川雅史コンサート'08 ～一期一会～ 10月8日(水)

日本中に感動の渦を巻き起こしている「千の風になって」がいよいよけんぶんで開催

■開演／午後6時30分

■場所／和歌山県民文化会館大ホール

■入場料金／S席6,000円(1階)

A席5,000円(2階) 全席指定

プログラム 千の風になって 昴
川の流れるように グラナダ ほか

第62回和歌山県 美術展覧会「県展」

県民の美術作品に対する創作意欲を盛んにして、県内における美術文化の向上と発展に資するために開催します。

部門は、洋画、日本画、書、写真、工芸、彫塑、華道の7部門です。

和歌山展

展示会場/県民文化会館1F県民ギャラリー

第1期 9月18日(木)～9月22日(月)

県展招待作家展 洋画・日本画・書・工芸・彫塑(但し華道は第2期に展示)

第2期 9月25日(木)～9月29日(月)

日本画・工芸・彫塑・華道

第3期 10月2日(木)～10月6日(月)

書・写真

第4期 10月9日(木)～10月13日(月)

洋画

県内の下記地域においても開催します。詳細につきましてはお問い合わせ先まで。

白浜展

展示会場/白浜会館

10月29日(水)～11月2日(日)

上富田展

展示会場/上富田文化会館

11月12日(水)～11月16日(日)

新宮展

展示会場/新宮地域職業訓練センター

11月19日(水)～11月23日(日)

橋本展

展示会場/県立橋本体育館

12月3日(水)～12月7日(日)

お問い合わせ 和歌山県美術展覧会実行委員会 073-433-7124 和歌山県企画部文化国際課 073-441-2052



和歌山県文化表彰とは、和歌山県の文化向上・発展に
顕著な功績のある人たちに贈られる賞です。



平成19年度 和歌山県文化功労賞受賞



音楽家・合唱指導 原 盾二郎(はら じゅんじろう)さん

昭和12年大阪市生まれ。県立日高高等学校で学び、ピアニスト矢田暎子・横井和子両氏に師事する。昭和34年大阪学芸大学(現・大阪教育大学)特設音楽課程ピアノ卒。昭和35年県立田辺高等学校に赴任し、以来同校合唱部を率いてコンクールで数々の賞を受賞。全日本合唱連盟関西支部常任理事。昭和61年田辺市文化賞。現在、和歌山県合唱連盟理事長。



「教育者の父がNHK大阪放送合唱団で歌っていて幼い頃から音楽に親しみ、その影響を受け音楽の道を歩きました」と原さん。高校時代からピアノを本格的に始め、大学でピアノを専攻し、卒業後はNHK新人演奏会に出演。昭和35年、県立高等学校芸術科音楽教諭として田辺高校に赴任、同校で合唱部を指導しました。最初は16～17人で始めましたが、県下で一番になろうという夢と希望を

部員に持たせ徐々に増員し、3年目にはNHK全国学校音楽コンクール和歌山県大会で優勝を果たしました。常時100名以上の大合唱団は県大会で31回の優勝、近畿大会では6回最優秀校に選ばれ、全国大会に出場しました。全日本合唱コンクール全国大会においては、昭和54年銅賞、昭和55年銀賞、昭和59年優秀賞、平成2年銅賞を獲得しています。

さらに市民参加型文化事業の「田

辺第九演奏会」では高校時代に合唱の楽しさを知った卒業生や生徒たち、音楽を愛する市民の方々、約230～250名を束ね、第九合唱団を第1回から指導し、関西フィルハーモニー管弦楽団との共演で23回



を数える演奏会を開催しています。中でも2000年には東京芸術劇場において東京交響楽団と田辺第九合唱団230名が共演を果たしました。地方の合唱団が東京公演を行うことは稀有であり、素晴らしいその様子は「ここに人生あり」というNHKTVのドキュメンタリー番組に取り上げられ全国放映されました。原さんば合唱がもっともっと盛んになり、歌う喜びをみんなに感じてほしい。これからも合唱指導を続け、後進を育てていきたい」と熱く語ります。

合唱指導を行う原さん



きのくに合唱セミナー

一昨年から始まった合唱のセミナーです。県内各地で開催しますので、ご都合の良い会場でご参加下さい。発声練習からはじめ誰もが知っている名曲など皆さん一緒に歌ってみませんか？

講師・指導者	原 盾二郎(和歌山県合唱連盟理事長・和歌山県新人演奏会選考委員)
開催日時・場所 (参加料無料)	9月13日(土)午後2時00分～4時00分 海南市民交流センター 1F音楽練習室
	10月18日(土)午後2時00分～4時00分 海南市民交流センター 2F視聴覚室
	〔平成21年〕
	1月25日(日)午後1時30分～3時30分 新宮市福祉センター1F集会室
	2月15日(日)午後1時30分～3時30分 新宮市福祉センター1F集会室
	3月 1日(日)午後1時30分～3時30分 新宮市福祉センター1F集会室



「歌う喜びをみんなに感じてほしい」

9/水
24

全4幕・上演時間 約3時間 原語上演・日本語字幕付

プラハ室内歌劇場オペラ「フィガロの結婚」
W.A. モーツァルト

■開演／午後6時30分 ■開場／午後5時30分 ■場所／和歌山県民文化会館大ホール
 ■入場料／SS席10,000円(残席わずか)、S席8,000円、
 A席6,000円、B席4,000円、C席2,000円(学生)(残席わずか)

大人が愛する至高の娯楽「オペラ」
 難しい？ チケットが高くて手が出ない？ 話
 が暗い、退屈？ いえいえ決してそんな事
 はありませんよ！

手ごろなチケット価格が魅力的。S席1
 万円未満で購入できるのは非常に稀です。

分かりやすくビジュアル的で美しい演出とカラフルで楽しいステージ。日本
 語字幕付なのでオペラが初めての方にも楽しんでいただけます。

楽都プラハを中心に世界中から集めた粒ぞろいのソリスト陣。ヨーロッパで
 絶大な人気を誇るマルティン・オタヴァによるハイセンスかつ分かりやすい演出。
 東欧若手NO.1の実力を誇るマルティン・マージクによるスタイリッシュな指揮。

日本で一番人気のある作曲家モーツァルトの最も有名かつ最高傑作といわれ
 る「フィガロの結婚」にご期待下さい



指揮:マルティン・マージク
 演出:マルティン・オタヴァ
 管弦楽:プラハ室内歌劇場管弦楽団
 合唱:プラハ室内歌劇場合唱団

10/金
17

きのくにコンサート

響ホール室内合奏団 With 澤和樹

■開演／午後7時
 ■場所／和歌山県民文化会館大ホール
 ■入場料／一般3,000円(全席指定)
 学生1,500円
 ■出演／澤和樹(ヴァイオリン)
 山本邦山(尺八・人間国宝)
 山本真山(尺八)
 響ホール室内合奏団

プログラム(予定)

ジョン・ラター/弦楽のための組曲
 松下功/二本の尺八と弦楽のための協奏曲「天空の舞」
 小中学生の俳句朗読&演奏
 休憩
 G.タルティーニ/ヴァイオリン協奏曲 二短調 D.45
 A.ドヴォルザーク/弦楽セレナーデ ホ短調 Op.22



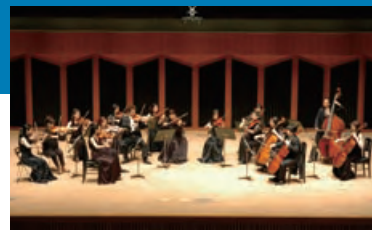
澤和樹(平成16年度和歌山
 県文化賞受賞)



山本邦山(尺八・人間国宝)



山本真山(尺八)



響ホール室内合奏団プロフィール

北九州市の音楽専用ホール・響ホールの初代
 館長、故 後藤忠雄の“地元の演奏家を育てて
 いきたいという熱意から1998年に結成。年
 に数回の定期演奏会のほか、北九州国際音
 楽祭への出演、地域に根ざしたスクールコン
 サートなどを行い、毎年夏の公演では、もっと
 身近に音楽を親しんでいただけるよう、映画
 やダンスなどを取り入れたオリジナル企画公
 演も好評を得ている。現在の団員構成: Vn9
 名、Va3名、Vc3名、Cb1名、計16名

チケットのお求めは、

けんぶん友の会優先電話予約 9月8日(月)午前10時から
 一般(プレイガイド)販売 9月15日(月)から

平成20年度きのくに舞台芸術祭支援事業

日本・トルコ友好

庄野真代チャリティコンサート
9月21日(日)

■開演／午後6時30分
 ■場所／串本町文化センター
 ■出演／庄野真代
 ■入場料金／2,500円(全席自由)



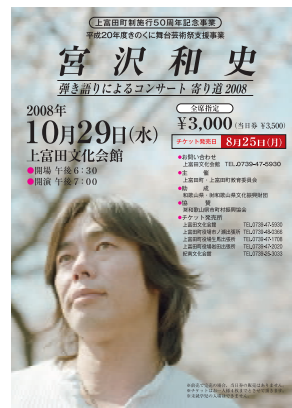
【主催】
 串本町文化自主事業実行委員会
 【お問い合わせ】
 串本町教育委員会 生涯学習課
 TEL.0735-62-0006

上富田町制施行 50 周年記念事業

宮沢和史 弾き語りによるコンサート
寄り道2008
10月29日(水)

■開演／午後7時
 ■場所／上富田文化会館
 ■出演／宮沢和史
 ■入場料金／前売 3,000円
 当日3,500円(全席指定)

【主催】
 上富田町
 上富田町教育委員会
 【お問い合わせ】
 上富田文化会館
 TEL.0739-47-5930



11/ 火水
4.5

平成20年度優秀映画鑑賞推進事業

名作シネマシアター

- 開演／両日とも午前10時
- 開場／午前9時30分
- 場所／和歌山県民文化会館大ホール
- 入場料／1日券400円
2日券700円
2日ペア券1,200円
2日シニア券500円(全席自由)

(シニア券は60歳以上の方。当日、年齢を証明するものをご持参ください)

本年は、昭和30年代から40年代にかけて製作された日本映画の中から映画史を代表する作品や、多くの皆様に好評を博した作品を選んで上映します。

11/4(火)	八月の濡れた砂	10:00～11:31
	伊豆の踊子	11:50～13:12
	キューポラのある街	13:25～15:04
	けんかえれじい	15:15～16:41
11/5(水)	キューポラのある街	10:00～11:39
	けんかえれじい	12:00～13:26
	八月の濡れた砂	13:35～15:06
	伊豆の踊子	15:15～16:37



八月の濡れた砂 91分 1971年 日活
脚本・監督：藤田敏八
出演：村野武範、広瀬昌助、隅田和世 ほか



伊豆の踊子 82分 1974年 東宝映画=ホリプロ
監督：西河克己
出演：山口百恵、三浦友和、中山仁 ほか



キューポラのある街 99分 1962年 日活
脚本・監督：浦山桐郎
出演：吉永小百合、浜田光夫、東野英治郎 ほか



けんかえれじい 86分 1966年 日活
監督：鈴木清順
出演：高橋英樹、浅野順子、川津佑介 ほか

2009
1/ 祝月
12

青島広志のおしゃべりクラシック Part3

- 開演／午後3時 ■場所／和歌山県民文化会館大ホール
- 入場料／(全席指定)一般2,500円、学生500円(小学生から高校生まで)
- 発売開始日／(けんぶん友の会優先電話予約) 9月12日(金)午前10時から
〔一般先行電話予約〕 9月19日(金)午前10時から
〔一般(プレイガイド)販売〕 9月27日(土)から

「世界一受けたい授業」・「題名のない音楽会21」などテレビでお馴染みのブルーアイランド氏こと青島広志氏が3度目の公演を行います。

楽しいおしゃべりとわかりやすい解説で皆様を魅了します。

- 【指揮・お話】 青島広志
- 【管 弦 楽】 大阪シンフォニカー交響楽団
- 【演奏曲目】 J. シュトラウスⅡ：喜歌劇「こうもり」序曲
エルガー：威風堂々
J.S バッハ：G 線上のアリア
J. シュトラウスⅡ：美しく青きドナウ 他



写真提供 神奈川フィルハーモニー管弦楽団

【助成】和歌山県・(財)和歌山県文化振興財団 【協賛】(財)和歌山県市町村振興協会

はじめてのオーケストラ

大阪シンフォニカー交響楽団 名曲コンサート
11月9日(日)

- 開演／午後3時30分 ■場所／紀南文化会館大ホール
- 出演／指揮：寺岡清高、ピアノ：大道真理、ナビゲーター：今城和久アナウンサー (NHK)
- 入場料金／1,500円(全席指定)

【主催】
田辺市教育委員会
【お問い合わせ】
田辺市教育委員会
文化振興課
TEL.0739-26-9943



カノン クリスマスコンサート

12月7日(日)

- 開演／午後3時
- 場所／粉河ふるさとセンター大ホール
- 出演／カノン
- 入場料金／前売 2,000円
当日2,500円(全席自由)
- 発売開始／9月13日(土)午前10時

【主催】
紀の川市
【お問い合わせ】
粉河ふるさとセンター
TEL.0736-73-3312



紀の国 遺産探訪

KINOKUNI HERITAGE

和歌山県内の魅力ある
文化遺産等を紹介します。



無量寺方丈室中ノ間を飾る襖絵
上／日本一の大きさを誇る「虎図」
下／「龍図」

串本の無量寺(芦雪寺)に広がる 日本水墨画の傑作 長沢芦雪の世界

本州最南端串本町の住宅街にひっそりと佇む禅寺の無量寺は1707年の大地震による津波で流失し、方丈は約80年後に再建されました。その際、当時の住職・愚海和尚の友人であった江戸時代中期に活躍した絵師・円山応挙は、自身が描いた障壁画を新築祝いにと弟子の長沢芦雪に託しました。届けた芦雪は一年ほど同寺に



滞在して、応挙の代わりに数々の作品を描き残しました。芦雪は「奇想の絵師」といわれ、性格は自由奔放にして奇抜だったと伝えられています。

芦雪の描いた「虎図」は日本水墨画の傑作といわれ、射抜くような鋭い眼光、威嚇するようにピンと張ったひげ、獲物を一撃で破壊するような力強い前足が寸分の迷いもなく一気に書き上げられています。

もう一つの傑作は「龍図」。この構図も芦雪ならではのもので、頭部と前足だけを天地いっぱいに描き、全身を描かずにその巨大な姿を想像させる斬新な作品となっています。これらの作品は無量寺境内にある「串本応

挙芦雪館」に展示されています。館内には円山応挙の襖絵も展示。写生を重視した親しみやすい師・応挙の画風とダイナミックで剛胆な弟子・芦雪の画風を対比して見ることができ、まさに眼福のひと時を過ごせます。



無量寺・串本応挙芦雪館

東牟婁郡串本町串本 833
TEL ● 0735-62-6670
開館時間 ● 9:30～16:30 (入館は16:00まで)
休 ● 12月30日～1月3日
拝観料金 ● 大人 1000円 (襖絵の見られない日、500円) ● 中学生以下 500円 駐車場 ● 10台

生活に広がる国際交流の輪 和歌山県国際交流センター

気軽に交流！多言語サロン

和歌山県国際交流センターでは、定期的に、国際交流イベントを行っています。7月20日には、南カリフォルニア・和歌山県人会から来和した、アネットさん、リエさんのお二人の大学生をリソースパーソンに、「多言語サロン」を開催しました。

この日は、主に英語を使用し、県民のみなさんと、アメリカの家庭生活や、学生生活について、写真を交え、紹介していただきました。その後、参

加者の方々から質問を受けました。

参加者のみなさんからは、「質問タイムが楽しかった」「地元の人と外国の人との交流ができてよかった」という感想をいただきました。

多言語サロンは、どなたでもお気軽にご参加いただけます。皆様、ぜひご参加ください。

※多言語サロンは月1回開催しています。詳しくはお問い合わせください。



〒640-8319 和歌山市手平2-1-2
県民交流プラザ 和歌山ビッグ愛8F
和歌山県国際交流センター
TEL: 073-435-5240

開館時間／午前10時～午後6時30分
休館日／水曜日・祝日(日曜日が祝日の場合は日曜日を開館し、翌日の月曜日を休館)、年末年始
<http://www.wak-kokusai.jp/>

大好き 和歌山



長野県での夏季合宿



定期演奏会の休憩時間でのミニコンサート



県民文化会館での第38回定期演奏会

みんなでつくり上げるオーケストラで クラシック音楽の魅力を伝えたい 和歌山大学交響楽団

和歌山大学交響楽団は1968年に創設され、今年で40年の歴史があります。弦楽器の第一・第二バイオリン、ビオラ、チェロ、コントラバス、木管楽器のフルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、金管楽器のホルン、トランペット、トロンボーン、打楽器の小・太太鼓、ティンパニ、シンバルが揃い、指揮者も学生によるフルオーケストラです。

現在の部員は64名。大学に入って初めて楽器を手にする部員が多く、まず自分の演奏したい楽器を選び、先輩に指導を受けながら奏技法をマスターしていくという伝統が続けられています。さらに、個人や各パートの分奏、合奏など毎週、月・水・木・土の放課後3時間ほどの練習を行ないながら、指揮者の下で曲をつくり上げていきます。練習を一日休むと、取り戻すまでに3日ほどかかるので、練習のない日でも

楽器にふれるように自主練習を心がけているそうです。

活動は毎年3月に行なわれる阪神大学オーケストラ連盟の合宿での各大学との交流、9回続いている小学生が歌う曲の伴奏や優しく親しみやすいクラシックの演奏を聴いてもらい交流する「プロムナードコンサート」、プロの演奏家を招いての長野県での夏季合宿、秋に行われる定期演奏会、弦楽器のアンサンブルでの訪問演奏会などを行なっています。

創立40周年を迎える今秋、11月24日(月)に県民文化会館で「第40回定期演奏会」を開催します。プログラムは第一部「ナブッコ序曲・コリオラン序曲・ローエングリーン」第二部「ブラームス交響曲第一番」。

定期演奏会実行委員長でトロンボーン担当の川端麻奈美さんは「みな

さんに楽しんで聴いてもらえるように演奏会に向けて、日々、練習に頑張っています」と話し、チェロ担当の団長・有川美穂さんは「学業と両立なので大変ですが、一人ひとりがまとまり、心を一つにして演奏している日々の成果をみなさんに聴いてもらえたらうれしいです、40周年を迎え、お客さんやOBに演奏で感謝の気持ちを伝えたい、ぜひ聴きにきて下さい」と熱く呼びかけます。

和歌山大学交響楽団 「第40回定期演奏会」

11月24日(月)

開場13:30 開演14:00

県民文化会館大ホール 入場料無料

プログラム

- 第一部「ナブッコ序曲」・「コリオラン序曲」・「ローエングリーン」
- 第二部「ブラームス交響曲第一番」

けんぶん舞台裏へのご招待／vol.7「簀の子」(すのこ)

普段は入ることができない舞台裏へ、普段聞き慣れない舞台用語を交えて皆さんをご案内します。

舞台の天井のことで、簀の子張り(関西地方では昔は竹の格子組)になっているところからきた名称で、その姿から「ぶどう棚」ともいわれます。

現在では、鉄製で作られており、客席からは見えない所で、緞帳(どんちょう)(vol.1 参照)や美術バトン、反響板等の吊物を昇降するためのモーター、ワイヤー、滑車等が設置されています。

また、緞帳等をそのまま吊り上げる構造になっているため、緞帳の高さの2倍

以上、約20m程の高さのところにあります。

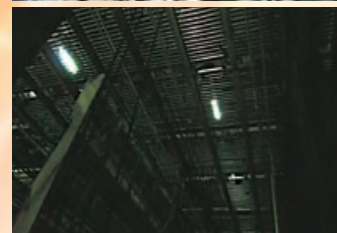


写真1,2は上から、3は下から見上げたところ

カルチャーインフォメーション

和歌山県立自然博物館

☎073 (483) 1777

ドングリころころ工作教室

■10月26日(日) 13:00~16:00

植物のタネや木の実のもつ様々な形を観察しながら、ドングリを使ったマスコット作りをします。また、ご自宅周辺の里山や公園で拾ったタネや木の実などがあれば持参下さい。当館にて名前が調べられます。



【募集対象】小学生以上一般30名(小学4年生以下は保護者同伴)

*応募者多数の場合は抽選

【参加申込み】往復ハガキに行事名・参加希望者全員(同伴保護者含む)の住所・氏名(ふりがな)・年齢・電話番号を記入、または和歌山県電子申請システム <https://www.epref-wakayama.jp/sinsei/index.html> から受付可

【参加費】入館料+78円(傷害保険料)

【参加申込締切り】10月12日(日) 必着

【申込先】〒642-0001 海南市船尾 370-1 ドングリころころ工作教室係

*1組1通の応募、複数応募は無効

☎ 海南市船尾 370-1 ☎ JRきのくに線海南駅からバス「琴の浦」下車すぐ ☎ 午前9時30分~午後5時(入館は午後4時30分まで) ☎ 月曜(祝日・振替休日の場合は次の平日) ☎ 一般460円 *高校生以下・高齢者(65歳以上)・障害者の方は無料 ☎

和歌山県立紀伊風土記の丘

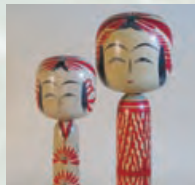
☎073 (471) 6123

秋期企画展

「こけしと木地職人の世界」

■9月20日(土)~11月24日(祝・月)

日本の郷土玩具を代表するこけしについて、木地職人の技術とその系譜に着目し、生産地ごとの特徴や違いを解説します。



秋の万葉植物園ガイド

「秋草を楽しむー山上憶良を尋ねてー」

■9月20日(土) *応募締切り9/9(火)

*開催時間:13:30~15:30 対象:小学生~一般30名 参加費:入館料+100円

移築民家の解説「昔の住まいの知恵」

■10月25日(土) *応募締切り10/15(水)

*開催時間:13:30~15:30 対象:一般30名 参加費:入館料+20円

【申込方法】

A. 当館受付にて所定の書類に必要事項記入し、返信用ハガキを添える。
B. 往復ハガキ、Eメールで、住所・氏名・年齢・電話番号を明記し、県立紀伊風土記の丘(各イベント名)係まで

C. 和歌山県電子申請システム

<https://www.epref-wakayama.jp/sinsei/index.html>

☎ 和歌山市岩橋1411 ☎ JR和歌山駅東口からバス「紀伊風土記の丘」行き終点下車徒歩約5分 ☎ 午前9時~午後4時30分(入館は午後4時まで) ☎ 月曜(祝日・振替休日の場合は次の平日) ☎ 一般170円、大学生80円(高校生以下、65歳以上、障害者の方、県内に留学中の外国人留学生及び就学生は無料) ☎

万葉館

☎073 (446) 5553

~万葉新能10周年記念~ 和歌の浦の万葉新能展

■9月10日(水)~11月3日(祝・月) *最終日は15:00まで

平成11年10月10日の喜多流能「鶴」を皮切りに今年10月12日で第10回を迎える「和歌の浦万葉新能」。今回の展示では、NPO和歌の浦万葉新能の会のこれまでの活動や写真をパネルで紹介しします。*詳細はNPO和歌の浦万葉新能の会事務局(木村屋内) 073(444)0155 まで

☎ 和歌山市和歌浦南3丁目1700 ☎ JR和歌山駅または南海和歌山市駅からバス「不老橋」下車徒歩約10分 ☎ 午前9時~午後5時(入館は午後4時30分まで) ☎ 無 ☎ 一般200円、高・大学生100円、小・中学生無料 *高齢者(65歳以上)・障害者の方は無料 *20名以上の団体割引あり ☎

和歌山県立近代美術館

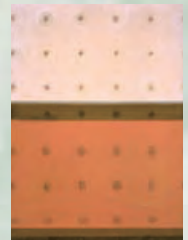
☎073(436)8690

点と面の詩情

上前智祐・山中嘉一・坪田政彦展

■9月13日(土)~10月26日(日)

上前智祐、山中嘉一、坪田政彦の点・線・四角形といった、極めて基本的な要素を用いたそれぞれの作品を紹介。個性を持たないと思われがちな点や線。その抽象的な形が、この3人の作品においては独特の詩情を醸し出しており、単純かつその形態から生まれる個性豊かな表現の世界が垣間見られる展覧会です。



山中嘉一 《Work-163》
2002(平成14)年

☎ 和歌山市吹上1-4-14 ☎ JR和歌山駅または南海和歌山市駅からバス「県庁前」下車徒歩約2分 ☎ 午前9時30分~午後5時(入場は午後4時30分まで) ☎ 月曜(祝日・振替休日の場合は次の平日) ☎ 一般500円、大学生300円(高校生以下、高齢者(65歳以上)、障害者の方、県内留学・就学生は無料) *20名以上の団体割引あり ☎

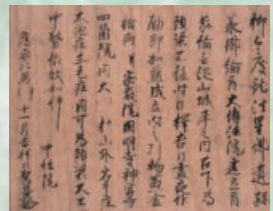
和歌山県立博物館

☎073 (436) 8670

企画展 古文書が語る紀州の歴史

■9月6日(土)~10月5日(日)

私的なやりとりを交わす手紙のようなものから、必要に迫られ意図的に偽作されたものまで、古文書は様々な目的で作成されます。この展覧会では、書かれた文字から無限に広がる中世の紀州の歴史を紹介しします。



☎ 和歌山市吹上1-4-14 ☎ JR和歌山駅または南海和歌山市駅からバス「県庁前」下車徒歩約2分 ☎ 午前9時30分~午後5時(入場は午後4時30分まで) *毎金曜日~午後7時まで(入館は午後6時30分まで) ☎ 月曜(祝日・振替休日の場合は次の平日) ☎ 一般260円(特別展800円)、大学生150円(特別展500円) *高校生以下・高齢者(65歳以上)・障害者の方・外国人留学生(外国人就学生を含む)は無料 *20名以上の団体割引あり ☎

Pick Up!

イベントスケジュール

吉田 正 記念オーケストラ in和歌山 12月6日(土)

■開演/午後3時

■場所/和歌山県民文化会館大ホール

■入場料金/4,000円

■指揮/大沢可直

■ゲスト出演/古都清乃

プログラム(予定)

第1部 童謡・唱歌・映画音楽・軽音楽・日本歌謡曲
吉田正メロディ・地元女声合唱団との共演

2曲程度・セミクラシック 他

第2部 話題の吉田メロディ第7番より



チケットのお求めは、

けんぶん友の会優先電話予約

9月10日(水) 午前10時から

一般先行電話予約

9月17日(水) 午前10時から

一般(プレイガイド)販売

9月24日(水) から

追加募集

けんぶんバックステージツアー

(施設見学)

普段は入ることができない舞台の裏側を解説を聞きながら楽しく見る事が出来ます。

開催日時/9月20日(土)午後1時の部・午後3時の部、9月21日(日)午前10時の部・午後2時の部
見学/和歌山県民文化会館大ホール(楽屋など)

募集人員/各20名 所要時間/約1時間

募集期間/9月10日(水)まで 参加料/無料

申込方法/往復はがきにご希望の曜日・時間・お名前・住所・電話番号・年齢を記入しお申し込みください。

*グループでお申し込みの場合は、全員のお名前・電話番号・年齢を記入。*応募者多数の場合は抽選とします。

お問い合わせ・申し込み先

〒640-8269 和歌山市小松原通1-1

(財)和歌山県文化振興財団けんぶんバックステージツアー係
電話073-436-1331 FAX073-436-1335

Wakayama

和歌山県文化情報誌 ワカピー Wakayama Culture and Arts POWER

【発行】和歌山県

【発行日】平成20年9月

【編集・問い合わせ】(財)和歌山県文化振興財団(ワカフ) 〒640-8269 和歌山市小松原通1-1(和歌山県民文化会館内)

☎073(436)1331 FAX.073(436)1335

【ホームページアドレス】<http://www.wacaf.or.jp>